

国名	バングラデシュ人民共和国		
事業名	「ジャムナ肥料工場建設事業」		
	「ジャムナ肥料工場建設事業（Ⅱ）」		
	「ジャムナ肥料工場建設事業（Ⅲ）」		
借入人	バングラデシュ人民共和国政府		
	バングラデシュ人民共和国大統領		
保証人	なし		
事業実施機関	Jamuna Fertilizer Corporation Ltd.		
交換公文締結	1988年8月	1989年11月	1990年9月
借款契約調印	1988年11月	1989年11月	1990年11月
借款契約承諾額	13,853百万円	18,500百万円	8,480百万円
借款契約実行額	13,738百万円	18,389百万円	5,794百万円
事業概要と基金分	<p>本事業は首都ダッカの北西約130kmに位置するジャマルプール県タラカンディに尿素肥料工場（アンモニアプラント：日産1,078MT、尿素プラント：日産1,700MT）を建設し、バングラデシュ北部・北西部への尿素肥料供給を図らんとするものである。基金借款は、上記に必要とされる資機材調達・据付、土木工事、及びコンサルタント・サービスの費用に充当される（外貨費用全額）。</p>		
主要計画／実績比較	計 画		実 績
○事業範囲：			
1.アンモニアプラント	1,078トン／日		同 左
2.尿素肥料プラント	1,700トン／日（561千トン／年）		同 左
3.その他設備	取水設備、製品運搬設備等		同 左
4.コンサルタント・サービス	基本設計レビュー等		同 左
			（但し、若干の変更有り）
○工 期（プラント・コントラクター契約～商業運転開始）	1988年5月～1991年6月 （37ヶ月）		1988年9月～1992年6月 （45ヶ月）
○事業費（審査時）：			
外 貨	37,641百万円		外 貨 37,921百万円
内 貨	1,137百万TK		内 貨 4,083百万TK
計	42,644百万円		計 54,461百万円
（注1）基金借款対象は外貨全額			（注3）同 左
（注2）換算レート：TK.1 = ¥ 4.4			（注4）換算レート：Rp.1 = ¥ 4.05 （92年6月）

総 合 評 価

(1) 実施状況

本事業の事業範囲に関してはほぼ計画通りであった。ジェッティーと取水施設の一部設計の変更は、本工場が面するジャムナ河の流れが東側に振れ、土壌浸食を受けた結果、その将来的な安定性の確保のために固定式から可動式へと変更したものであり、妥当な変更理由であると考えられる。

工期に関しては、当初審査時より8ヵ月延長しているが、これは、主に一部設計の変更やコンプレッサー・ハウスの火災（注：本件はターン・キー方式の契約下での事故のため、コントラクターの責任において処理された）等によるものであり止むを得なかったものと判断出来る。

事業費に関しては、当初審査時と比すと、外貨は約280百万円の増加、内貨は11,537百万円（2,946百万TK）の増加となっている。外貨の増加分は一部設計変更に要する資金増等であり内貨に関しては税金等の増加があげられる。

(2) 運用状況

完成後の運用状況については、計画では1年目、2年目の稼働率は各々約65%、約85%であったが、実績としては92/93年度、93/94年度は各々は約85%（約478千トン）、約100%（約567千トン）の稼働率にて操業されており、当初計画以上の稼働率にて順調に操業されている。

本工場にて生産された尿素肥料の多くは、最大消費地であるバングラデシュ北部・北西部へと供給されており、所期の目的を達成していると言える。また、本事業は雇用創出及び外貨節約の面でも効果を上げているものと考えられる。

事 業 効 果

- ・ 尿素肥料のバングラデシュ北部・北西部への供給
- ・ 雇用創出効果
- ・ 外貨節約効果

(備 考)

評価報告日：1994年9月